

第27回JTA旗先島地区学童軟式野球交流大会

大会要項

- 1 目的 : 離島県沖縄の更に離島で形成される先島の地理的ハンディ克服と、心身共に健全で心豊かなたくましい子どもの育成を図ると共に両地域の文化にふれあい学習する喜びを体験させることを目的とする。
 - 2 主催 : (一社)沖縄県野球連盟
 - 3 共催 : 日本トランスオーシャン航空株式会社、八重山地区学童野球指導者会
沖縄県野球連盟宮古支部
 - 4 主管 : (一社)沖縄県野球連盟 八重山支部
 - 5 後援 : 石垣市、石垣市教育委員会、(株)八重山毎日新聞社、(株)八重山日報社
 - 6 会期 : 令和5年3月31日(金)～2日(日)
 - 7 会場 : 石垣市中央運動公園野球場・第二野球場・多目的広場
 - 8 出場資格 : 令和5年度沖縄県野球連盟学童部に登録された八重山支部及び宮古支部の会員であること。又、出場者は全員スポーツ安全傷害保険に加入していること。
 - 9 登録人員 : 登録は、監督1名、コーチ2名、マネージャー1名、記録員1名とし、選手は20名以内とする。
 - 10 用紙配布 : 令和5年2月7日(火)～2月7日(火) 陸上競技場事務所前
 - 12 監督会議 : 日時:令和5年2月7日(火)午後6時 場所:石垣市福祉センター 1階第一研修室
 - 13 参加料 : ¥10,000
 - 14 開会式 : 宮古一石垣間、便の都合上行わない。
 - 15 閉会式 : 決勝戦に勝ち残ったチームで行う。
 - 14 使用球 : (公財)全日本軟式野球連盟公認球 ナイガイ(内外)ボールJ号(学童用)を使用する。
 - 15 表彰 : (1) 優勝チームには賞状、優勝旗(持ち回り)、優勝盾、優勝メダルを授与する。
(2) 準優勝チームには賞状、準優勝盾、準優勝メダルを授与する。
(3) 個人賞として殊勲賞、敢闘賞、打撃賞の賞状及び記念品を授与する。
 - 16 適用規則 : 2022年度公認野球規則、2022年度競技者必携、学童野球に関する事項および別に定める特別規則を適用する。
 - 17 競技方法 (1) 背番号は、監督30番、コーチ29番、28番、主将10番とし選手は0番から99番とする。
(2) 試合中打者、走者、次打者、ベースコーチは連盟公認の両耳付ヘルメット、捕手は連盟公認マスク、スロートガード、プロテクター、レガース、捕手用ヘルメットを着用しなければならない。金属、ハイコンバットは公認(JSBB)マーク入りを使用すること。
(3) **ホームベースのサイズを一般のものに変更する。**
(4) あらかじめ2022年度競技者必携、特に学童部に関する事項を熟読しておくこと。
(5) **全試合6イニング制および時間制限(1時間30分)とし、正式試合(コールドゲーム)になる回数は3回以降10点差、5回以降7点差が生じた場合(決勝戦も適用する)**
(6) **全試合6イニングもしくは90分以内とする。A先行で4回表に1時間30分経過した場合4回裏の攻撃まで行う。(正式試合の5回均等回完了以前に時間制限に到達したため)。**
(7) 2イニング、タイブレークが完了しても決着がつかないときは、抽選で勝敗を決定する。(〇×式)ただし、決勝戦の場合は、投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまでタイブレーク方式を続行する。
- ※タイブレーク方式(特別延長戦)
継続打順で、前回の最終打者を一塁走者、**その前の打者を二塁とする。**すなわち、0アウト一塁・二塁状態にして、**投手の投球制限を遵守の上、勝敗が決するまで続行する。**
- (8) 守備の時間が長い場合(概ね20分)には健康維持を考慮し、審判員の判断で給水タイムを設けることとする。(試合時間に入れない)
 - (9) 投手の投球制限については、肘・肩の障害防止を考慮し、1人の投手は、1日70球以内を投球できる。試合中に70球に達した場合、その打者が打撃を完了するまで投球できる。
 - (10) メガホンは、ベンチ内に限り1個の使用を認める。
 - (11) 熱中症対策として、保護者(女性)2名以内をベンチに入れることができる。
 - (12) ベースコーチと走者となった投手は、グラウンドコートを着用することができる。
- 18 派遣 優勝チームには、沖縄県代表として阿波おどり全国学童軟式野球大会へ派遣する。
準優勝チームには、沖縄県代表として小早川隆景杯軟式少年野球大会へ派遣する。
- ① 選手の手袋の色は自由で良い
- ② 基本的にソックス、ストッキング2足を履く(白色のソックスが見えなくてもよい)
- ③ アイブラックの使用を認める。リストバンド、リストガードも許可する。
- ④ ネックウォーマーの使用を認める。